

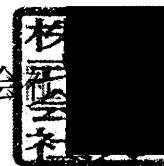
領収書



日付: 2018年11月06日
領収書番号: R-1811066462

横井 帝之 御中

ラクスル株式会社



〒141-0021 東京都品川区上大崎2-24-9 アイケイビル 1F
tel: 03-4577-9200 mail: contact@raksul.com

¥10,984-

但し 商品代として
上記金額を正に受領いたしました。

ご注文番号	商品名 / 商品仕様	部数	出荷日	金額
1811066462-01	(爽やか通信vol2最終案) チラシ・フライヤー,A4,両 面カラー,光沢紙(コート),標 準: 90kg,折り加工: 巻き3つ 折り	2,000部	2018年 11月8日	¥10,170

注文内容:	商品:	¥10,170
注文合計:		¥10,170
消費税:		¥814
ご請求合計金額:		¥10,984

お支払い方法: コンビニ支払い



日付: 2019年3月26日
領収書番号: R-1903269918

横井 帝之 御中

ラクスル株式会社



〒141-0021 東京都品川区上大崎2-24-9 アイケイビル 1F
tel: 03-4577-9200 mail: contact@raksul.com

¥20,088-

但し 商品代として
上記金額を正に受領いたしました。

ご注文番号	商品名 / 商品仕様	部数	出荷日	金額
1903269918-01	(爽やか通信vol3案) チラシ・フライヤー,A4,両 面カラー,光沢紙(コート),標 準: 90kg,折り加工: 外3つ折 り	2,000部	受付日確定後 5日以内	¥9,300
1903269918-02	(爽やか通信vol2最終案) チラシ・フライヤー,A4,両 面カラー,光沢紙(コート),標 準: 90kg,折り加工: 外3つ折 り	2,000部	受付日確定後 5日以内	¥9,300
	注文内容:	商品:		¥18,600
	注文合計:			¥18,600
	消費税:			¥1,488
	ご請求合計金額:			¥20,088
	お支払い方法:			コンビニ支払い

領 収 書

平成30年8月22日

横井 帝之 議員

金額
(消費税込) 1,592円

第3回佐野市議会議会報告会費用分担金として、上記の金額を領収しました。
(平成30年7月5日、9日、11日報告会開催)

佐野市議会報告会運営委員長

菅原 達





爽やか通信 Vol.2

平成30年11月 発行 第2号 発行者：横井帝之 事務所：佐野市浅沼町831-1 TEL:21-2842

平成30年6月定例議会の一般質問

◎佐野市立小中学校適正規模・適正配置基本計画について

Q 小学校の適正規模と現状について

学校規模適正化への基本的な考え方として、クラス替えが可能な規模であることと、クラス替えを通じて様々な人間関係が生まれ、そこから多様な価値観、学習意欲が芽生えるなど単学級による弊害を取り除くことができる。また、総合的な学習を始め、課題別活動に幅を持たせたり、学校行事等における学級ごとの取り組みなどを生かしたりすることができる。クラス替えができる12学級を是非維持していただきたいが、今後の方針は？

A 現在12学級に満たない小学校は26校中20校でございます。田沼西地区、葛生地区の小中一貫校を整備することにより10校となり、半減いたします。今後につきましては後期計画で検討してまいります。学校の統合、通学区域の見直しという2つの方法を各学校、地域の実情に応じて取り入れ、進めていきたいと思っております。

Q 今後の小中学校の建て替え計画について

田沼西地区の施設一体型小中一貫校の設置、葛生地区の施設一体型小中一貫校の設置、赤見地区施設一体型小中一貫校の設置と計画が続く中、既存の小中学校への改修等の予算が確保しにくい現状が続くのではないかと危惧されますが、今後の小中学校の建替計画は？

A 今後の小中学校建て替え計画につきましては、今後策定を予定している学校適正規模・適正配置基本計画の後期計画を踏まえ、計画に位置づけられた学校については必要な改修等を行い、計画に位置づけられない学校については施設の老朽化が進行している状況がございますので、大規模改修もしくは建て替えなどの学校施設全体の長寿命化計画を検討してまいります。

その他の質問：「佐野市中心市街地活性化基本計画」について
医療的ケア児の保育園における受け入れについて

平成30年9月定例議会の一般質問

◎アリーナたぬまメインアリーナエアコン設置について

Q メインアリーナについて、今年は厳しい暑さが続きましたが、室温は何度まで上昇しましたか？

この夏の最高温度は、メインアリーナが7月22日日曜に43度、サブアリーナが同日38度でございました。（※外気温は37度で猛暑日、バスケットの試合が行われていました。）

Q 現在、メインアリーナの空調設備は排気と吸気のみとなっている。メインアリーナを冷やすためのエアコンは、設置されていないが、近隣の市有施設を見ると、足利市の足利市民体育館は空調設備完備となっており、栃木市の栃木市西方総合文化体育館は空調設備完備となっている。今年は厳しい暑さが続いたが、メインアリーナの天井に4本ある空調ダクトへエアコンをつなぐことができれば、室温の上昇を防ぐことが可能と思うが、エアコンの設置について今後の考えは？

現在、体育館へのエアコンの導入についての計画はありませんが、今後、今年の夏のように猛暑が続くことも想定をされますので、エアコンの導入については今後の課題であると考えています。（※2022年に栃木国体でアリーナたぬまはバレーボールの試合会場に選定。）

その他の質問：公共施設の勉強スペースとしての利用について・佐野市堀米保育園民営化実施への進捗状況について・「住みよさランキング2018」について・デスティネーションキャンペーンについて

◎小中学校体育館床改修事業

Q 平成29年9月定例議会 質問内容

文部科学省より、体育館の床板の剥離による負傷事故の防止についての通知が出されている。スポーツ立市を掲げる本市において、全ての体育館利用者に安心して安全にスポーツを楽しんでほしいと願うが、体育館の長期的な改修計画は？。

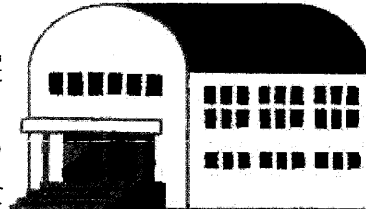
A 担当部署の回答

現在、本市の小中学校の体育館は35校のうち31校が建築から30年以上が経過しており、今後一斉に大規模改修などの老朽化対策が必要な時期を迎えます。

今後限られた財源の中で集中的な更新時期を考慮し、財政負担の平準化を図りながら、改修計画を検討していかなければならないと考えています。また、市の体育館も老朽化に対する修繕を計画的に施しながら、適切な施設の管理運営に努めていきたいと考えています。

質問に至った背景

体育館でのバレーボール練習中、体育館の床板の一部が剥離し、腹部に突き刺さり被災者が重傷を負った事故のニュースが昨年ありました。昨年5月29日に文部科学省より、体育館の床板の剥離による負傷事故の防止についての通知が出されております。佐野市としても子どもたちの安心・安全のために対応が求められます。



事業化の状況

平成30年度予算として、**天明小学校の体育館床板張替え工事費（4,140万円）**と**南中学校体育館床板研磨による工事費（460万円）**が盛り込まれ事業実施に至っております。現在の小中学校体育館の床板は、床材の傷や割れ及び床金具の緩み、浮き、ずれにテープを貼って応急処置をしている状況です。各学校とも子どもたちが安心・安全に使用できるように対応を引き続き求めていきます。

◎保育園民営化事業（公立保育園の民営化による質の向上）

Q 平成29年9月定例議会 質問内容

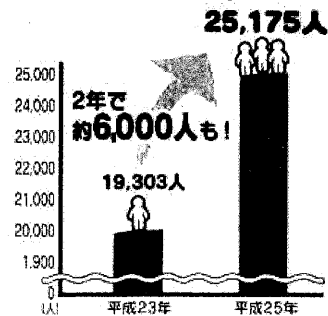
佐野市保育所整備運営計画について、この民営化により保育の質はいかに保たれ、また保育サービスはどのように向上していくのか？

A 担当部署の回答

第2次佐野市総合計画基本構想において、健やかで元気に暮らせるまちづくりの基本目標が定められ、その実現のために安心して子育てができる環境整備が求められており、保育所整備運営計画を推進することにより保育所の整備を進めてまいります。また、基本構想では行政経営方針において民間活力の活用を積極的に行うとともに市有施設の適正配置を行うことになっていることから、保育所整備運営計画において公立保育所の役割を明確にした上で、公立保育所の民営化を進めてまいりたいと考えております。また、保育サービスの向上につきましては、民営化により休日保育など多様なニーズに応える保育サービスの展開が図られるものと考えております。

質問に至った背景

現在の保育のニーズは多様化しております。その中でも発達障害児や医療的ケア児の増加が顕著になってきており対応が求められます。医療的ケア児とは先天的な病気などで入院治療後も人工呼吸器やたんの吸引、管を使った栄養補給などの医療的ケアが日常的に必要な障害児です。寝たきりの子供もいる一方、歩いたり話したりできる子供もいます。全国では、この2年間で6,000人、10年間で倍増しています。



今後の方針等

本年、堀米保育園の民営化事業がスタートいたしました。堀米保育園民営化において受託団体は「とちのみ会」に決定いたしました。「とちのみ会」に決定した内容の一部としましては、とちのみ会は、障がい児保育について、専門的知識を持った職員が法人内いることから、教育研修、人事交流など充実したサポートが行われます。障がい児受入は、現状以上の受け入れを計画しております。障がい児保育の充実は、保育所の民営化による質の向上と言えます。今後も保育園民営化は続きますので、注視してまいります。

全国医療的ケア児者支援協議会HPより



爽やか通信 Vol. 3

平成31年3月 発行 第3号 発行者：横井帝之 事務所：佐野市浅沼町831-1 TEL:21-2842

平成30年12月定例議会の一般質問

◎子どもの安心・安全な登下校環境について

Q 学校安全情報メールの運用について

不審者情報についてですが、最近特に下校時に不審者が出るようなことをお聞きしております。この学校安全情報メールの不審者情報ですが、どのような仕組みで発信されているか、また、不審者情報のその後の対応等も発信していただいたほうが皆さん安心していただけるのかなと思っておりますが、見解を伺いたい。

A 各小中学校は、児童生徒または保護者から不審者等に関する情報の連絡があった場合、直ちに教育委員会に報告をし、その情報を教育委員会は必要に応じて、安全情報メールに登録していただいている保護者、関係者の皆様方に不審者情報としてメール配信しております。不審者情報を発信したその後についてでございますけれども、不審者が特定された場合、あるいは不審者事案が解決した場合などは、警察と相談するなど連携を図りながら、適切に対応してまいりたいと考えております。

Q 置き勉の対応について

2005年から11年間で教科書の合計ページが約3割ふえ、重さについては、写真やイラストが多く使われるようになったことから、カラーページ等になり、紙質がよくなったことも加え、40年前から比べると、**重さは8割もふえている**そうです。教育委員会から各学校へどのような対応を促しているかを伺いたい。

A 10月3日の定例の校長会におきまして、子供たちの登下校における負担軽減に向けて、具体的に、宿題や予習、復習で使わない教科書や学用品を学校に置いておくことを許可することや、鉢植えなどの大きな荷物の持ち帰りなどを保護者をお願いすることなど、子供たちの発達段階、発達状況や通学の距離などに応じて**各学校で適切に対応するよう**指示をしたところでございます。

その他の質問： 子どもの貧困対策について
犬猫不妊・去勢手術費用助成金制度設置の検討状況について

平成31年2月定例議会の一般質問

◎佐野市立小中学校適正規模・適正配置基本計画について

Q 後期計画は、平成35年度以降ということで、現状では赤見地区施設一体型小中一貫校の計画や適正規模に満たない小学校、中学校の適正規模化や通学路の見直しがうたわれているが、現在の見直しの進捗状況について伺いたい。

少子化に伴う児童生徒数の減少を考慮し、通学区域の課題、校舎の老朽化の課題など総合的に考え、その解決には**義務教育学校による小中一貫教育による教育の推進**も方策の一つであるということで考えています。これらの考え方を懇談会へ提出して、委員の皆様からご意見をいただき、進めていきたいと考えています。

その他の質問： 観光立市について
子どもたちの安心・安全対策について

新年度（平成31年度）予算報告

◎バイオマス発電調査事業費（新規）

◎再生可能エネルギー活用調査事業費（新規）

Q 平成29年6月定例議会 質問内容

今後の人口減を考えますと税収が減っていくことが予想されます。地域で消費するエネルギーは、地域で発電し賄う。エネルギーの地産地消、再生可能エネルギー発電事業の拡充が必要と思いますが、考えを伺いたい。

A 担当部署の回答

エネルギーの地産地消（後に地産地消に訂正）につきましては、地域に必要なエネルギーを地域のエネルギー資源によって賄うことにより、富を地域の外に流出することなく、富を地域の中で循環させることができ、経済の地域内循環を実現できるものでございます。また、エネルギーの地産地消（後に地産地消に訂正）は、地域内での再生可能エネルギー事業の活発化にもつながり、新たな雇用を生み出す可能性もありますので、地域の経済活性化にもつながるものと考えております。このようなことから、これからの税収減が見込まれる中、エネルギーの地産地消（後に地産地消に訂正）は、その確保の一助ともなると考えておりますので、先進事例等を調査研究してまいりたいと考えております。

再生可能エネルギー（一瞥）



太陽光



風力



バイオマス

事業化の状況

・バイオマス発電調査事業費：3万6千円

間伐材等を活用したバイオマス発電についての調査・研究

・再生可能エネルギー活用調査事業費：3万6千円

再生可能エネルギーの活用や自治体新電力についての調査・研究

調査・研究の段階ですが、この一歩は佐野市の明るい未来へ繋がっていると考えます。事業をしっかりと実施していただき、次へ繋げてまいります。



地熱



波力

2年間の活動報告と課題

一般質問の回数：大項目 23項目（内、小項目 109項目）

※こども福祉部への質問回数は2年間で全議員中最多

委員会での役割：平成29年度 議会運営委員会（副委員長）

平成29年度 総務常任委員会（委員）

平成30年度 議会報告会運営委員会（副委員長）

平成30年度 厚生常任委員会（副委員長）

平成31年 第1回定例会 予算審査特別委員会（副委員長）

※1期生議員の中では副委員長回数（4回）最多

審議会での担当：都市計画審議会委員

空家等対策審議会委員（副委員長）

高齢者保健福祉推進委員会・介護保健事業推進委員会・地域密着型サービス

運営委員会委員

※1期生議員の中では担当数最多タイ

各種審議会委員等議員就任への課題

現在の各種審議会委員へ議員が就任するうえでの課題は2点あると考えています。

1、各種審議会等の報酬

現在、審議会等へ委員として就任する場合には報酬が支払われています。私たち議員は議員報酬がありますので、議員としての立場での就任は二重報酬になってしまうと考えます。

2、審議会等へ議員が委員として就任するべきか

審議会等へ議員が委員として就任し、審議会での議論に参加すると、議員自ら作り上げてきた案件を、議会で再度審議する立場となってしまいます。これでは、議会での議論が骨抜きになってしまう恐れがあります。これらの課題解決に向け、引続き活動してまいります。